

河野哲士 さん



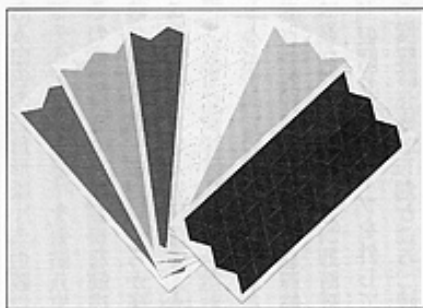
信頼できる
気の治療家
を訪ねて
●第7回●

色が持つ情報から命の働きを導き、
即時に症状を解消させる方法

レポーター◎代替医療ジャーナリスト 森幹雄

人体が微弱な刺激で変化しうるということを筆者が初めて体感したのは、十数年前にオーリングテストを応用したセミナーに参加した時のことだ。ツボに触れる、病変組織の写真に触れる、食べ物に触れるといった微弱な刺激を与えると、体はそれが自身にとって「プラスなのかマイナスなのか」ということを、筋肉の強弱によって教えてくれるのである。

このような体の働きに着目し、オーリングテストのルートでもあるアプラインドキネシオロジーから発展させた、色による経絡治療法が今回ご紹介する筋診断法だ。



※……医師の大村昭昭氏によって創始された診断法。正式なオーリングテストは医療従事者だけが入会できる「日本バイ・デジタルオーリングテスト医学会」で学ぶことができる。